

キャリア教育・実践的職業教育への取り組み

1. 実践的職業教育への取り組み

企業との授業等における連携の方針	<p>実際にシステム開発を業務としている企業と連携し、授業の実施・評価を企業側講師が行うことで、実践的な知識とスキルの修得が可能となる。</p> <p>また、業界の最新情報や実際の事例解説などを行うことで、将来的に就職する業界についての学生の興味を喚起させ意欲を上昇させる。</p> <p>これらの内容を盛り込んだ協定書・契約書を企業と締結し、演習・実習を行い、システム開発における実践的かつ専門的な能力を育成する。</p>
企業との授業等における連携の内容	<p>企業の技術者が参画して、教材作成・選定、科目の実施方法、評価方法の設計を行う。</p> <p>実際の演習・実習は、企業からの講師派遣により実施し、学生へ直接指導する。</p> <p>演習・実習終了時には、科目設計時に設定した評価方法を踏まえ、企業側講師と学校側講師が連携して学生の評価を行う。</p>
連携企業名	株式会社エスシーシー
企業との連携科目	実践アプリケーション開発

2. キャリア教育・就職支援への取り組み

就職支援担当	<ul style="list-style-type: none">・専任就職担当がサポート・クラス担任がサポート・キャリアカウンセラー研修受講済み講師による指導・産業カウンセラーによる指導
就職支援体制について	<p>厚生労働省認可 無料職業紹介所（認可日：昭和57年12月20日）</p> <p>主に専任就職担当とクラス担任が、学生一人ひとりの希望や個々の能力と適性に応じた最適な企業に就職できるよう、きめ細かな個別指導やアドバイスを繰り返し行っている</p>